

北高同窓会だより

KITA HIGH SCHOOL OB. OG. NEWS

発行 名古屋市立北高等学校
同窓会編集委員
発行日 2019年3月1日
編集責任者 会長 山本裕康(4回生)
同窓会事務局(北高校内) 担当 岸 宏親
TEL 052-901-0338

Vol. 31 ※この同窓会だよりは、北高等学校同窓会編集係が、名古屋市立北高等学校
並びに在校生、卒業生のご協力を得て編集発行しています。

新しい時代を生きる後輩へ



同窓会会長 山本裕康(4回生)

北高校同窓会会員の皆様には、日々お元気です
ますご活躍のことと思います。

この度卒業された54回生の皆さん、ご卒業おめ
でとうございます。皆さんは、平成の元号として最
後の卒業生です。卒業と同時に同窓会に入会となり
ます。皆さんの入会を心から歓迎いたします。保護
者様をはじめご家族、恩師、先輩や同僚、後輩など、
あなた方を育み導いて下さった方々への感謝の気持
ちをいつまでも忘れないようにして下さい。

昨年は、大阪北部地震・北海道胆振東部地震・
西日本豪雨・記録的猛暑・大型台風の襲来等、自
然災害の多い一年でした。被害に遭われた皆様方
にお見舞い申し上げます。今年も早々に熊本で地震が
発生しました。年々地球温暖化の影響が大きくなっ
ているようです。

経済面では、この一月まで景気拡大が続き、戦後
最長の「いざなぎ景気」を超え、記録更新となった
ようです。(景気が拡大しているという実感はないの
ですが?) アメリカのトランプ大統領の自国中心主
義による米中経済戦争の行方により、世界経済が大
きな影響を受けることは間違いなく、我が国にも当
然マイナスとなります。EUと英国の問題等も含め、
非常に変動の激しい年になり、危惧するところです。

政治面では、今年は県知事選挙・地方議員選挙・
参議院選挙等が実施されます。皆さんは新たに選挙
権を行使できる年齢になりました。棄権することな

く、投票に赴き、しっかりと義務を果たしていただ
きたいと思います。

4月1日には、新しい元号が発表されるそうです。
どのような元号になるのでしょうか? 待ち遠しいですね。
5月の新天皇のご即位に向け明るく希望の抱ける元
号になればと期待します。

さて、最近、仕事の関係で全国各地に出張するこ
とが多くなりました。オリンピックを控えているせい
でしょうか、様々な事で東京への一極集中をすごく
感じています。都市部と地方の差がますます開いて
いくようです。

超高齢化社会とか2025年問題とか2040年問題
とかがよく言われるようになりました。人手不足での
働き方改革、外国人労働者の活用等、人口減少か
ら生じる問題が山積みになっていますが、外国人労
働者の力を借りざるを得ないと思います。

ただ、悲観ばかりでは前進できません。最近若
い人達の活躍が光っています。テニス、サッカー、
スキー、水泳等スポーツをはじめ将棋、囲碁など様
々な分野で頼もしい限りです。卒業生の皆さんにも期
待をします。

ところで、同窓会活動もマンネリ化になっている
と思っています。活性化のために皆様方からいろ
んなアイデアや提案をいただければと思います。個人
情報の兼ね合いで情報発信が難しい状況になってい
ますが、今後とも、ご理解・ご協力・積極的なご参
加をお願いします。

最後に、同窓会会員の皆様のますますのご健勝ご
活躍と母校北高校の発展、隆昌を祈念し、ご挨拶
と致します。

平成30年度卒業生対象の行事

(平成31年同窓会若者のつどい)

平成31年8月24日(土) 14:00~16:00

場所: 名古屋市公会堂 4階ホール

詳細は後日ハガキにて連絡します。

楽しい企画が一杯ですので参加して下さい。無料
抽選会では豪華景品が当たります。新卒業生はご予約を!
(クラス幹事の方に実行委員をお願いします)

平成30年度音楽部定期演奏会

平成31年3月26日(火) 18:00 開演

名古屋市芸術創造センター

全自由席・入場料500円

問合せは名古屋市立北高等学校音楽部まで

電話 052-901-0338

教室を飛び出して

校長 加藤 裕 司

本校は昨年7月にユネスコスクールに承認されました。ユネスコスクールとは「ESD：持続可能な開発のための教育」を推進する拠点となり、地球規模の諸問題に対処できる若者を育む教育を実践する学校です。

本校における、ボランティア活動、国際交流活動、地域貢献活動など日々の取組がユネスコスクールとしての活動とつながっています。

ESDが目指す育みたい力として、人間の尊重、多様性の尊重、非排他性が挙げられています。一人ひとりを大切に想い、お互いの個性を尊重して、自分とは異なった価値観を持った人たちを受容することは、どんな場面でもとても大切な視点です。ユネスコスクールの活動を通して、この大切な視点を育んで行きたいと思っています。

ところで本校では、2年生の修学旅行で平和学習を目的として広島を訪問します。生徒が訪れる広島では、原子力爆弾の投下によって一瞬にして多くの犠牲者を出すと共に、今なお苦しんでいる人々がたくさんいます。語り部の話に耳を傾け、原爆資料館で見聞きして学んだことから、平和であることの大切さや平和を維持することの難しさを実感し、自分のこととして感じることで、一人ひとりがどうあるべきかを考える機会となっています。

また、国際理解コースの2年生はシンガポール・マレーシアへ海外研修に出かけます。この海外研修は「日本を知る」「多文化共生を知る」「国際交流を深める」「ESDの視点を持つ」など日ごろ学んでいることをさらに深め、確実な学びとすることを目的としています。この海外研修では、国際感覚を養う機会としてとても貴重な経験をすることができます。現地の高校を訪問しての交流活動やイスラム教徒の家庭にホームステイをしての交流活動では多文化共生の視点で多くのことを体験し学びます。生徒一人ひとりがそれぞれの感性で感じたことや考えたことすべてが、今後の生き方の大切な礎になることと思います。

教室を飛び出して、生徒一人ひとりが自分自身と向き合い、深く考える機会にも重きを置き、これからも学校生活の中にちりばめていきたいと考えています。

北高3年目を迎えて

教頭 池 松 宣 浩

北高校赴任3年目となりました。昨年同様に年度末～現在までの様子を紹介したいと思います。

昨年3月に卒業した特進3期生は、2期生同様よい成果を上げました。現役国公立大学合格者13名中特進クラスは11名の合格者が出て、数年ぶりに名古屋大学にも合格しました。浪人生と合わせると合格者は20名となりました。今年度の4期生も頑張っています。

国際理解コースの1期生が卒業し、国公立1名合格（看護学科）はじめ、同志社、南山、愛知、中京、名外大などに合格しました。また、6名の生徒が海外の大学に留学しました。外国語、国際だけでなく、心理・栄養・看護など多様な進路選択がみられ、英語だけでなく幅広くESD教育を推進した成果と考えます。

さて、本校は、昨年7月28日に「ユネスコスクール」として正式に認可されました。学校全体でSDGs（持続可能な開発目標）実現のために、自分達は何が取り組めるかを考え行動に移しているところです。さらに、国際理解コースのESD教育を普通コースにも浸透させるため、11月のHR時に、夏休みに短期留学をした2H（国際）による成果報告会を1年生全員対象で実施しました。その結果、普通コースの生徒も数名、「トビタテ留学 Japan」（短期留学）への申し込みがありました。

昨年度同様、地域連携も継続しています。昨年9月28日に、新沼町交差点において、北警察署・北区役所・学区の方々とともに交通事故防止の啓発活動を行いました。その際、美術部が「道も未来もライトオン（標語は前期生徒会執行部が考えたもの）」を10mになる横断幕を作成し披露しました。参加された方から大変好評で、その後、しばらくの間、北警察署に掲示されていました。

このように、本校は未来に向かって様々な取り組みを継続しています。中学生が減少する状況で生徒募集には苦勞しますが、積極的に外部へ情報を発信していきたいと思っていますので、同窓会の皆様のご支援をお願いいたします。

高校生活を通して

第54回卒業生 前田 美 優

3年前、期待と不安を胸に北高校へ入学してきました。義務教育を終えて、新たな環境にワクワクしていたのを覚えています。

1年生では稲武へ野外合宿に行きました。竹トンボの制作やキャンプファイヤーなどを通して絆を深めることができました。同じクラスの人だけでなく、他クラスの人たちとも交流ができ高校生活の良いスタートが切れたと思います。

また、修学旅行では広島・岡山へ。今まで行ったことのない地に行き、ガイドさんから聞く話はとても新鮮でした。宮島では、鹿と触れ合ったり、名産である牡蠣を食べたりして楽しかったです。班別研修ではうどん作りをしました。楽しい音楽に合わせ生地を作り、おいしく作ることが出来ました。

高校生活とひとことで言っても、体育大会、スポーツデー、文化祭など思い出深い行事や出来事がたくさんありました。卒業生一人ひとりにもさまざまな思い出があるのではないかと思います。

私個人としては生徒会長を務めさせていだき、責任感や達成感など多くのことを学ぶ

ことが出来ました。至らない部分はあったと思いますが、先生方や生徒の皆さんの支えもあり、やり遂げることが出来ました。また一生付き合っていきたいと思える友との出会いもありました。たくさんの思い出があり思い返せばキリがないほどです。

最後に、とても楽しく充実した3年間を過ごすことが出来たのは、たくさんの支えがあったからだと思います。共に笑いあい、行事の時には喧嘩もしながら切磋琢磨した友達、とても親身になって相談に乗ってくれ、時に厳しく時に優しく指導してくださった先生方、そして私の進路や悩みを一緒になって考えてくれた家族にとっても感謝しています。高校生活で学んだことを生かし、4月から頑張っていきます。



体 育 祭

6月に行われた体育祭では、天候の心配がありましたが、無事に終えることができました。

「この一年の楽しい思い出」

(第12回生・名古屋市立高校教員) 柴 田 康 博

54回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。北高校には1974年4月入学(学校群2年目)、教員としては、1994年から10年間勤務しました。3月末で市立高校を定年退職(卒業)します。

入学した当時は、学校群で3群(旭丘高校)と4群(名古屋西高校)のどちらかの一方を受験し、合格後、機械的にどちらかに振り分けられました。北高以外の学校に入りたかった仲間もいました。

先輩たち(学校群一期:11回生)を中心に、より生徒の意見が反映されやすいように、旭丘高校をモデルに生徒会規約の改正を行いました。中央委員会という名称はその頃の名残りです。

北高生の頃は、とにかく自由(無秩序な行き過ぎもあったが)で、高校生活を満喫することができました。それを見守ってくれた当時の先生方には大変(ご迷惑をかけて)お世話になりました。その影響もあってか、当時は、教員志望者が多

かったです。私は、市立高校の教員を目指し、三度目の挑戦でやっと合格できました。

部活動は、軟式庭球(ソフトテニス)部に所属しました。部活の仲間とは、卒業後、年に一度、顔を合わせています。最初の頃は、全員が揃うことは、ありませんでしたが、年を重ねるごとに絆が深まっていった気がします。昨年8月、還暦を記念して、全員で1泊2日の旅行をしました。また、部活の2年下の後輩が30年ぶりに開いた会にも誘ってもらい、喜寿を迎えた恩師(当時の顧問)ともお会いすることができました。ともに楽しい思い出です。年1回の年賀状が取り持つ縁です。

北高に赴任して以来、同窓会の役員を25年間やっています。8月に開催される「若者のつどい」は、みなさんの代表が実行委員となり運営をする会で、百数十名が参加します。私も、みなさんの姿を見るだけではなく、様々な分野で活躍する役員の方々とお話することができる貴重な機会だと思って参加しています。8月にお会いしましょう。

ぜひともご参加ください。同窓会の主な活動と今後の方針

一 5年に一度の「総会・行事」の開催の見直し
北高卒業生を対象として、5年毎に開催してきましたが、約10年毎に変更します。
50周年記念総会・行事は平成24年(2012年)11月に開催しました。

二 毎年夏に「若者の集い」の開催
新入同窓会会員を中心にして、記念総会実施年を除き、毎年開催しております。
新同窓生の実行委員が中心となった気軽に参加できる集いです。今年は8月24日(土)祝日に開催します。

三 同窓会名簿の作成と住所管理
全同窓生の住所・電話番号を調査し、住所変更についても、定期的な調査をし、コンピューターで管理し正確性の維持に努めています。編集は業者(㈱サルト)に依頼しています。

四 同期会活動の援助
同期会の活動を活発化してもらうために、開催に向けての相談などを北高事務局経由で同窓会理事が受けています。

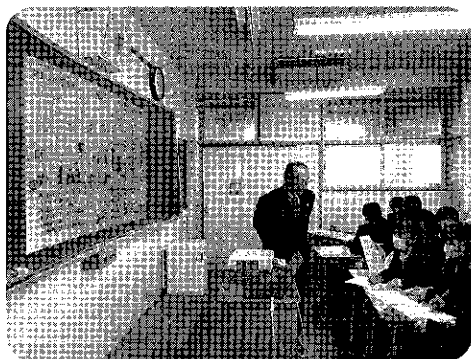
五 「北高同窓会だより」の発行
年1回の定期発行。内容は会長あいさつ、活動報告、卒業生からの寄稿、現在の北高の話題などです。同期会などにもご利用ください。詳細は北高事務局までお願いします。

六 役員会議の開催
同窓会活動を進めるため年数回役員会議を実施しております。10数名の役員さんが集まり、北高校の先生、或いは相談役の恩師等を交えて、毎回2時間程度活発な企画協議をしています。
役員会への参加は、ご都合のつく範囲で結構です。多くの世代から役員会参加を期待しますので、お気軽に問い合わせください。お待ちしております。

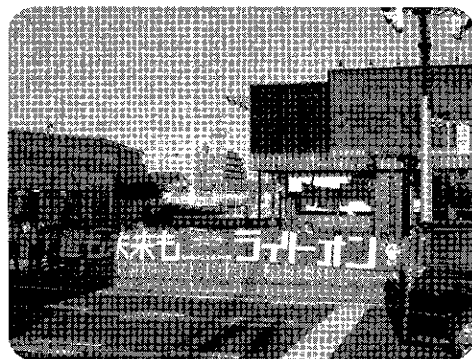
七 同窓会役員の募集
幅広い年齢層の同窓会役員を募集しています。是非、ご協力ください。

写真で北高点描

高校3年間でいろいろな活動を通して、生徒たちは成長していきます。先輩諸氏もこれらの写真で北高を懐かしみ、同窓会活動に多くの方が参加されることを期待します。



ユネスコスクール認定
申請していたユネスコスクールに認定され、名古屋ユネスコ協会会長よりユネスコスクールのプレートをいただきました。校内組織として国際理解部も発足しました。



キャリアサポート事業
今年度からキャリアサポート事業が始まり、本校にキャリアナビゲーターが配置されました。進路指導部と協力しながら生徒が自ら将来を考え、探究していくお手伝いをさせていただきます。



道も未来もライトオン
北警察署の主催により、国道41号線新沼町交差点にて、早めのライト点灯を呼びかける横断幕を掲げて車の運転手や自転車・歩行者にむけての啓発活動を行いました。